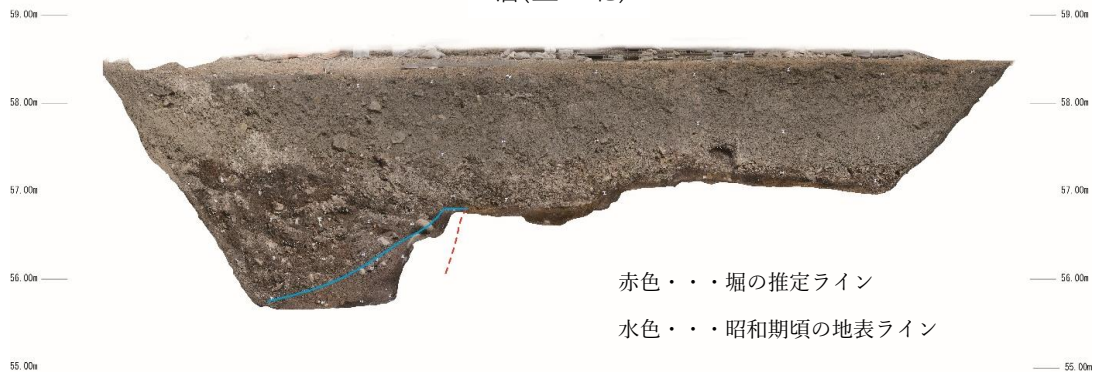


調査区③の調査成果

- ・調査区③では、堀の東端を確認することができました。
- ・堀の埋土は調査区①と同様に、昭和期（戦後）の埋土が確認できました。
- ・調査区③では、堀斜面に石積を確認することができました。調査区③は大手門へと渡る橋の北側に位置していることから、確認できた石積は、橋の周囲に描かれている石垣の裏込めなどの可能性も考えられましたが、石積の埋土中から近代以降の陶磁器がみつかったため、石積は橋に関連する石垣に伴うものではないことがわかりました。



堀(上が北)



赤色・・・堀の推定ライン

水色・・・昭和期頃の地表ライン

堀断面オルソ画像（南から）



堀東側石積（西から）